

## 資料配付の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会  
(平成26年12月22日同時配布)

平成26年12月22日  
国土交通省  
国土技術政策総合研究所

## 公共事業を地域の魅力向上につなげる手引き を発行しました ～「まちづくり効果」を高める公共事業の進め方（案）～

公共事業は、美しい施設や空間の創出にとどまらず、地域社会に様々な効果を与えます。しかし、地域社会に与える効果については、現場技術者が活用できる情報が整備されていませんでした。そのため国総研では、どうすれば公共事業が地域の魅力向上につながる効果（まちづくり効果）を出せるのかを示した手引きを発行しました。

本書が活用されることで、現場担当者等の意識や技術の向上が進み、地域の魅力向上につながる公共事業が促進されます。

1. 国土交通省直轄の公共事業については、平成19年度より景観評価システムに基づく検討を行うことが制度化され、各事業分野ごとに景観形成に係わるガイドラインも策定されており、景観配慮の実績が積み重ねられています。
2. しかしながら、これまでの取組みの多くは、個別事業としての区域や制度といった制約の中で景観向上を図るアウトプットが目的となっており、良好な景観を効果的に活用し地域の魅力向上につなげるアウトカムを意識した取組みが不足していました。
3. そこで国総研では、事業によって生み出される空間のエンドユーザーの視点に着目し、事業の各段階における景観配慮が地域社会にどのような効果を与えるのかを分析し、どうすれば効果が生まれるのかを明らかにしました。本書は、その成果をもとに、まちづくり効果の類型化を行うとともに、効果発現に寄与する取組みポイントをまとめたものです。
4. 本書が活用されることで、公共事業の現場担当者等の意識や技術の向上が進み、地域の魅力向上につながる公共事業が促進されます。  
なお、本資料は、どなたでも国総研のホームページからダウンロードできます。  
(ダウンロード先URL) <http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/index.htm>

## 【問い合わせ先】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 防災・メンテナンス基盤研究センター  
緑化生態研究室 (担当：栗原、曾根)  
電話：029-864-2742

## 「まちづくり効果」を高める公共事業の進め方（案）の概要

## 《公共事業が地域の魅力向上につながった 20 の具体事例》

事例名	所在地	概要
定禅寺通	宮城県 仙台市	戦災復興で創出された街路空間が市民の文化芸術活動の場にご利用され、 <u>市のイメージ向上、地域ブランドの確立</u> 等に波及。
子吉川 (癒しの川整備)	秋田県 由利本荘市	計画段階から実際の使い手を考慮し地域住民、近接する医療機関等と連携した河川整備を行い、 <u>様々な活動が継続的に展開</u> 。
横手川 (ふるさとの川整備)	秋田県 横手市	山、城、寺、河岸樹木など地域の景観資源との調和を優先した整備により、 <u>地域にも愛される魅力的な河川景観を創出</u> 。
奥州街道・羽州街道追分	福島県 桑折町	地域住民が主体となった調査結果をもとに、歴史的な追分が復元整備され、 <u>地域づくりの象徴として親しまれる空間</u> に。
和泉川 (ふるさとの川整備)	神奈川県 横浜市	沿川樹林地も一体にとらえた環境整備により、地域本来の景観が顕在化し、 <u>かつて行われていた子供たちの川遊びも復活</u> 。
馬堀海岸うみかぜの路	神奈川県 横須賀市	海岸と道路の一体整備により、多くの市民が利用する快適な空間が創出され、 <u>国・市・住民でのボランティア協定も締結</u> 。
富岩運河環水公園	富山県 富山市	埋立て計画のあった運河の再生・活用を計画に位置づけ、複数事業を統一的に実施したことで、 <u>新たな都市拠点</u> を創出。
鳥羽カモメの散歩道	三重県 鳥羽市	港湾区域の護岸整備において、市民と県との協働により駅と観光資源を結ぶ快適な海辺の遊歩道を創出し、 <u>観光振興にも寄与</u> 。
夢京橋キャッスルロード	滋賀県 彦根市	道路と沿道の建築物が一体となった整備により、観光客の流れが大きく変化し、 <u>年間 30 万人以上が訪れる観光地</u> に。
赤穂お城通り	兵庫県 赤穂市	街路整備を契機に、住民が勉強会を発足、市が沿道を景観形成地区に指定、県が周囲の植栽を配慮する等、 <u>まちづくりが進展</u> 。
太田川元町護岸	広島県 広島市	沿川市街地を含めたトータルな視点でのデザインにより親水性の高い河川護岸を整備。 <u>住民有志、企業によるアドプト</u> も発足。
津和野本町・祇園丁通り	島根県 津和野町	連続性に配慮した街路舗装を行ったことで、 <u>観光客の流れが拡大</u> 。自動車交通量も低下し、 <u>地区の交通安全性も向上</u> 。
津和野川 (ふるさとの川整備)	島根県 津和野町	川沿いの庭園との一体化など、川とまちを結びつけるデザインにより、 <u>衰退していた夏祭りの復活</u> といった住民活動にも波及。
山口パークロード	山口県 山口市	沿道の文教施設（図書館、美術館）や公園と一体となったパークロードが <u>市のシンボル軸</u> になり、外部からも高い評価。
新町川 (ボードウォーク等整備)	徳島県 徳島市	商店街、専門家、県、市の連携で実現した河川空間へのボードウォーク等整備により、河川景観が向上し、 <u>地域商業も活性化</u> 。
遠賀川直方の水辺	福岡県 直方市	大スケールの粘土模型を活用した分かりやすいデザイン検討が日常的に利用される河川空間に。 <u>地域の回遊性の向上</u> にも寄与。
油津堀川運河	宮崎県 日南市	地域のトータルデザインにより運河周辺が憩いの場に再生。公共事業での活用を契機に <u>地場産餛飩杉のブランド化</u> が始動。
鹿児島市電軌道敷緑化	鹿児島県 鹿児島市	軌道敷の緑化により市のPRにつながる景観創出に加え、ヒートアイランド対策にも寄与。開発された <u>技術が他地域にも波及</u> 。
首里城公園	沖縄県 那覇市	地場材、伝統技術の活用が民間にも波及し、定期的な修復工事とともに、 <u>伝統技術の継承、地場産業の活性化</u> に貢献。
壺屋やちむん通り	沖縄県 那覇市	沖縄らしい石畳道路への整備に伴い、住民の愛着も増し、マスメディアにも度々取り上げられる <u>新たな観光ルートの1つ</u> に。

《公共事業の進め方（事業段階）に着目し、12項目の取り組みポイントを整理しました》

効果発現のための取り組みポイント		事業の段階			
		事業の 枠組み 設定段階	計画・設計 段階	工事・施工 段階	維持・管理 段階 事業完了後
取 組 み ポ イ ン ト の 分 類	考え方・ スタンス	A まちづくりにおける事業の意味を考える	■	■	■
		B 与えられた整備範囲の中だけで考えない	■	■	■
		C 制約を取り払って考える	■	■	■
	進め方・ 体制	D 事業の目標・方向性を定め、継承する	■	■	■
		E 専門家の知恵を加える	■	■	■
		F 事業の検討体制を整える	■	■	■
	地域との 関わり	G まちに対する関心を育む	■	■	■
		H どう使い、育てるかを地域と一緒に話し合う	■	■	■
		I 地域の本当に大切なものを見つけ出す	■	■	■
		J 創出される施設や空間のイメージを伝える	■	■	■
		K 創出された施設や空間を多くの人に知ってもらう	■	■	■
		L 継続的に話し合う機会をつくりだす	■	■	■

《期待される「まちづくり効果」について、写真等を中心に分かりやすく解説しました》

効果の種類・名称（帯の色は効果の種類に対応）  
効果の種類に対応した効果項目を列記

効果の意味をまちづくりとの関係の観点から解説

**【人の行動】として発現する効果**

効果の類似発現例  
参考として類似する効果の発現例を記載

効果の説明  
発現効果を事例に即して、ビジュアルな資料を交えながら説明

効果の説明②  
複数の効果項目がある場合は可能な限り効果項目に対応した説明を提示

【人々の行動】として発現する効果のシート

【組織・制度】として発現する効果のシート

【空間・都市】として発現する効果のシート

【技術】として発現する効果のシート

【地域の経済】として発現する効果のシート

【外部評価】として発現する効果のシート

《取組みのポイントについて、具体的な手法や適用事例をもとに解説しました》

**取組みのポイント**  
(帯の色は取組みポイントの分類に対応)

**取組みポイントA：まちづくりにおける事業の意味を考える**

【解説】  
事業の初期段階においては、自然事業のまちづくりにおける事業地域でのまちづくりとの関わりを考えることが重要です。そのことによって、思いもかけない事業の役割、影響もたらされる可能性があります。

【具体的な取組み手法のイメージ】  
まちづくりにおける事業の意味を考えるためにはどうすればよいのでしょうか。それに伴う手法はありますが、その基本はまちを知ることになります。まちづくりにおける事業の意味を考える際の作業の例を以下に示します。

1) まちの歴史との関係から考える  
2) 広域の地図に事業箇所とまちの主要な要素（バス、エッジ、ポイント、ロード、ランド）を照らし合わせる  
3) 事業の進捗状況やまちの状況を確認する

【《具体的取組み手法のイメージ》  
取組みポイントに基づく具体的な作業イメージや一般的な手法を例示】

- ・都市計画図、都市マスタープランなどからまちや地域、地区の位置関係、計画中の事業を調べる。
- ・上記の調査から得られた情報を、広域の地図にプロットする。
- ・4) これらの情報を重ね合わせ、まちづくりにおける事業の意味を総合的に考える

※ケゲン・シンチ、丹下健三、富田孝彰、都市のイメージ

＜取組みポイントAに対応した事例にみられた主な効果＞

- ⇒ 4. 「まち」に対する市民の関心が高まる
- ⇒ 18. まちの歴史的な要素（目黒川）が活用される
- ⇒ 22. 地域の発展・産業活動が活性化

【適用事例①】 ◆まちの活性化を視野に入れた新たな観光動線の創出

鳥羽プロムナード（かみめの散歩道）の整備では、機能的なコンクリート舗装として構築されたが、整備計画に対して、市民有志（鳥羽ベクトル会）が協議を始めた。協議では、補助サインのために採った景観デザインの専門家からの助言もあって、まち全体の中で位置づけを考えた整備を進められた。まち全体のなかでの位置づけを考えたことで、鳥羽駅前の至近の施設であるという

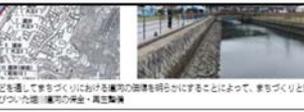
**適用事例①**  
手法の適用を事例に即して、ビジュアルな資料を交えながら分かりやすく説明



【適用事例②】 ◆まちづくりの出発点となった歴史的景観の価値の掘り起こし

鳥羽市の歴史（河川の整備）では、これからのまちづくりを考えるにあたり、都市計画の変更を促すための提案の一環として、歴史から歴史の掘り起こしの事業の推進の公共事業を行いました。それらの事業を進めると、鳥羽市は歴史的にも地理的にも河川の整備の町であること、そして歴史の掘り起こしからまちづくりの推進が促されることになりました。

**適用事例②**  
手法の適用は画一的でないことの理解を高めるために、できる限り複数の適用事例を提示



**取組みポイントに対応する事例での発現が確認された効果を例示**

《分析対象とした 20 事例は、各地での取組みの参考となるよう個別にも紹介しています》

**【事例】津和野川ふるさとの川整備（島根県津和野市）**  
～河川区域の枠にとらわれない川とまちの関係のデザイン～



養老館敷地（町所有）

従前の河川区域（県管理）



衰退していた夏祭りが整備後に復活



津和野の新しい観光スポットになった水辺テラス



川の整備に触発されるように修景された川沿いの建築物



まちなかの景観整備へとつながる